

大分空港を起点としたMaaS検討部会 (概要資料)

事業所管：大分県企画振興部交通政策課

大分空港を起点としたMaaS検討部会の設置について

- 大分空港は、本県の空の玄関口であり、経済活動、観光振興、関係人口の増加など、**本県の発展に欠かせない重要な交通基盤**。
- ポストコロナにおける社会経済の再活性化、地方創生の加速を図るためには、今後増加する航空需要を確実に取り込み、**大分空港を活性化**させることが必要不可欠。
- そのためには、大分空港からの二次交通である空港アクセスバス、タクシー、レンタカー、また今後導入予定のホーバークラフトなど、多様なニーズに対応できるよう、これらの**移動手段の利便性向上**に向けた取組みが重要。



大分空港を起点としたMaaS検討部会の設置

第1回 10月14日(木) 大分空港における二次交通の現状と課題、改善の方向性等

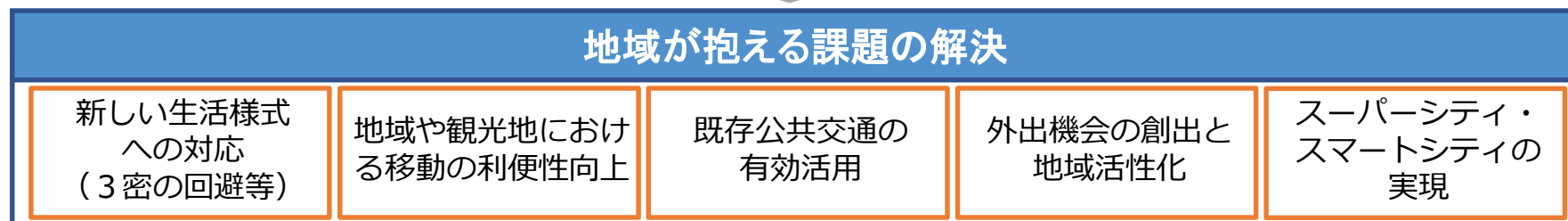
第2回 11月26日(金) 大分空港を起点としたMaaSの方向性、MaaS活用事例の紹介等

九州の東の玄関口としての拠点化を推進するため、
県内外を結ぶ交通ネットワークの充実に向けて取組む。

MaaSとは

MaaS（マース：Mobility as a Service）とは、

- 地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済を一括で行うサービス
- 手段としてスマホアプリ等を用いることが多い。
- 新たな移動手段（シェアサイクル等）や移動目的に関連したサービス（観光チケットの購入等）も組み合わせることが可能



MaaSの取組の全国的な広がり（国交省支援事業）

- MaaSの社会実装に向けた取組への支援 →12事業（令和3年度）
- 地域特性に応じたMaaSの実証実験への支援 →36事業（令和2年度）
- 全国の牽引役となる先行モデル事業への支援 →19事業（令和元年度）



令和3年度 12事業	
a.北海道芽室町	g.富山県朝日町
b.群馬県前橋市	h.静岡県静岡市
c.東京都大丸有地区	i.京都府与謝野町
d.山手線周辺/横須賀市	j.宮崎県
e.川崎市、箱根町	k.沖縄県
f.神奈川県三浦半島	l.沖縄県宮古島市

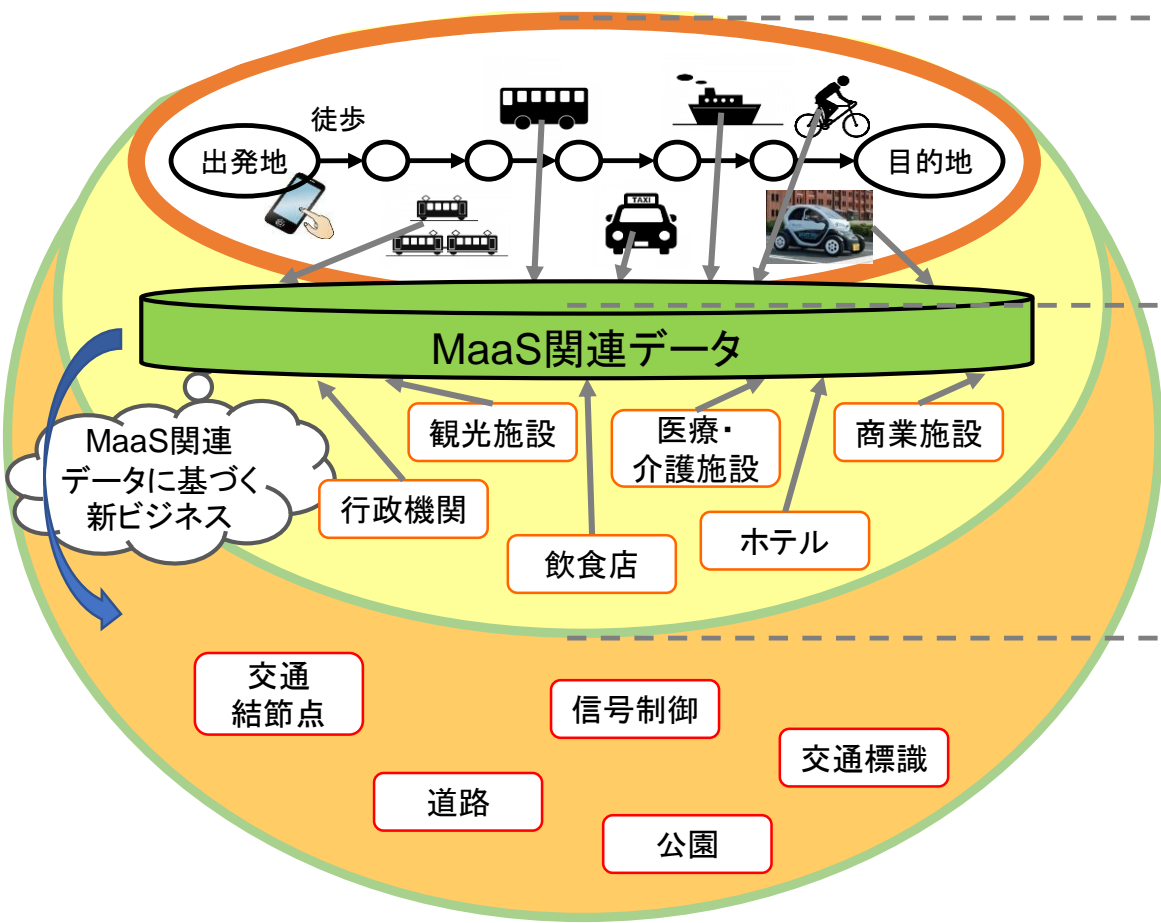
※下線部3事業はR3年度新規

令和2年度 36事業	
1.北海道十勝地域	19.静岡県伊豆半島
2.北海道洞爺湖町周辺	20.静岡県浜松市
3.北海道札幌地域	21.愛知県春日井市
4.福島県会津地域	22.三重県菟野町
5.茨城県ひたち園域	23.滋賀県大津市
6.茨城県土浦市	24.京都府京丹後市
7.栃木県宇都宮市	25.京都府京都市
8.群馬県前橋市	26.京都府舞鶴市
9.埼玉県三芳町	27.大阪府池田市
10.神奈川県横浜市周辺	28.兵庫県神戸市
11.神奈川県横須賀市周辺	29.広島県福山市
12.神奈川県三浦半島	30.広島県広島市
13.神奈川県川崎市	31.香川県高松市
14.神奈川県南足柄市	32.愛媛県南予地域・松山市
15.富山県朝日町	33.福岡県糸島市
16.石川県加賀市	34.宮崎県宮崎市・日南市
17.長野県茅野市	35.沖縄県全域
18.静岡県静岡市	36.沖縄県宮古島市

※下線部25事業はR2年度新規

令和元年度 19事業
A.ひがし北海道エリア
B.福島県会津若松市
C.茨城県日立市
D.茨城県つくば市
E.群馬県前橋市
F.神奈川県川崎市・箱根町
G.静岡県伊豆エリア
H.静岡県静岡市
I.三重県菟野町
J.三重県志摩地域
K.大津・比叡山
L.京都府山崎城村
M.京丹後地域
N.兵庫県神戸市
O.山陰エリア（島根・鳥取）
P.島根県大田市
Q.広島県庄原市
R.瀬戸内エリア
S.沖縄県八重山地域

日本版MaaSの推進



機能

事業者

コアなMaaS

公共交通、新型輸送サービス等の複数の移動手段を最適に組み合わせて検索・予約・決済を一括で行い、ストレスな移動を実現

- ・公共交通事業者（鉄道、バス、タクシー、フェリー等）
- ・新型輸送サービス（電動キックボード、シェアサイクル等）の運営事業者

MaaS+生活・観光サービス

病院やホテルの予約、商業施設や美術館の割引・イベント情報配信等、生活サービスと連携し、移動の高付加価値化を図り、移動を喚起

- ・観光施設事業者
- ・商業施設運営事業者
- ・医療施設運営法人
- ・美術館・博物館運営法人
- ・ホテル事業者

MaaS+社会インフラ

道路・交通結節点の整備、信号制御の見直し等、インフラ整備やまちづくりと連携し、交通渋滞や持続可能なまちづくり等の社会課題を解決

- ・地方自治体
- ・警察
- ・まちづくり団体

全国各地でのMaaSの普及⇒日本版MaaSの実現

地域課題の解決

（地域や観光地の移動手段の確保・充実、公共交通機関の維持・活性化 等）

大分空港を起点としたMaaS導入の必要性について

多様な観光ニーズに対応した交通サービスの提供

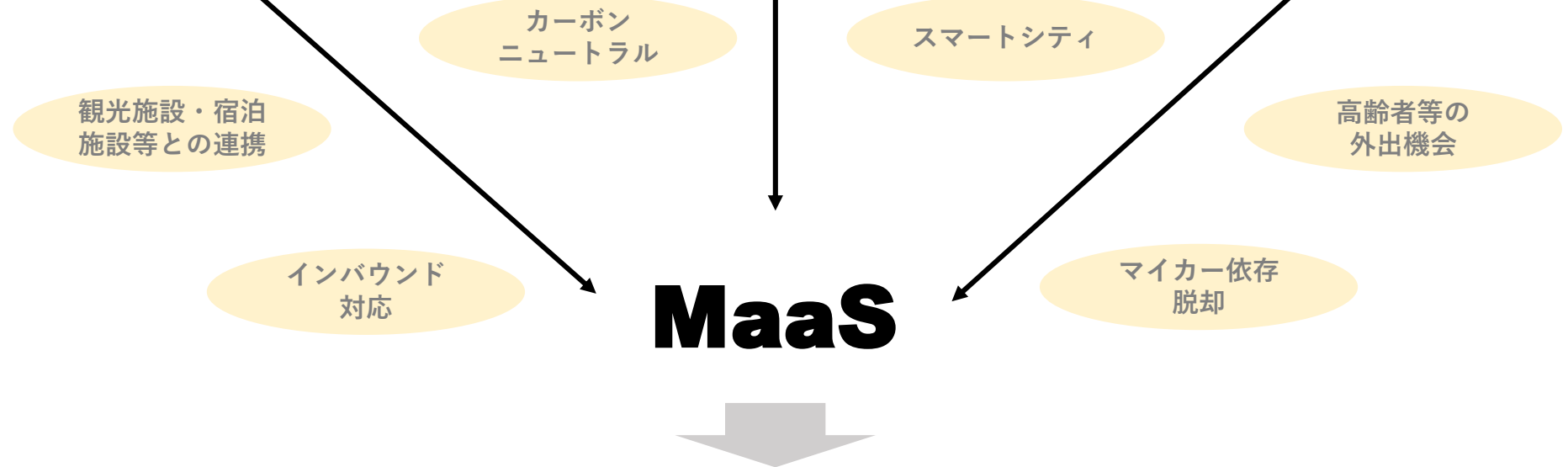
旺盛なインバウンドをはじめ、多様な観光ニーズに対して、大分空港を起点として、一括検索・決済、キャッシュレス、多言語化等の利便性の高い公共交通サービスを提供し、県内の魅力的な観光資源へのアクセス向上を図る。

公共交通機関の利用促進

空港バス、タクシー、レンタカー、ホーバークラフト等、複数の空港アクセスとしての公共交通サービスの連携を高め、利便性を向上を図り、県内外の方々の公共交通の利用促進を実現。

住民の利便性向上 地域課題の解消

既存の空港までの公共交通について、個人のライフスタイルに応じた使い勝手の良いサービスへ改善することで、マイカー依存からの脱却、免許返納後の移動手段など、住民の利便性向上と地域課題の解消を図る。



『陸・海・空・宇宙とつながる大分空港の利用促進・活性化の実現！』

大分空港を起点としたMaaS導入の方向性について

- 大分空港を起点としたMaaSの導入を検討するに当たっては、**空港直行アクセスのみではなく、国東、別府、大分等のエリアにおける利便性向上も含めて**、それぞれのモードごとに取組内容を検討することが必要。

📌 大分空港を起点とした複数の公共交通を最適に組み合わせ、検索・予約・決済までを一括で行うサービスの構築。

📌 交通機関だけでなく観光施設等の情報やサービスとの連携も見据えた取組も検討。



大分空港を起点としたMaaS実証実験のイメージ

📌 空港アクセスバス

(一例)

- ①いつでもどこでもアプリを使って乗車したい便のチケット購入可能
- ②スマホの画面提示により降車が可能
- ③混雑状況や購入状況等が閲覧可能

📌 路線バス

(一例)

- ①時間内乗り放題のタイムチケットの導入
- ②スマホ画面（アクティブ状態）を提示することで、その間自由に乗降が可能
- ③おすすめの観光施設情報等と連携した情報発信や割引クーポンの付与等

📌 タクシー

(一例)

- ①ワンアプリで、配車予約から決済まで一括で利用可能

GTFS-JPデータの整備について

- 県内の乗合バス事業者について、GTFS-JP（標準的なバス情報フォーマット）の整備を開始。令和4年度中に整備完了予定。

1 大分県の現状

GTFS-JP（静的情報）

路線：大分バス、大分交通、亀の井バス

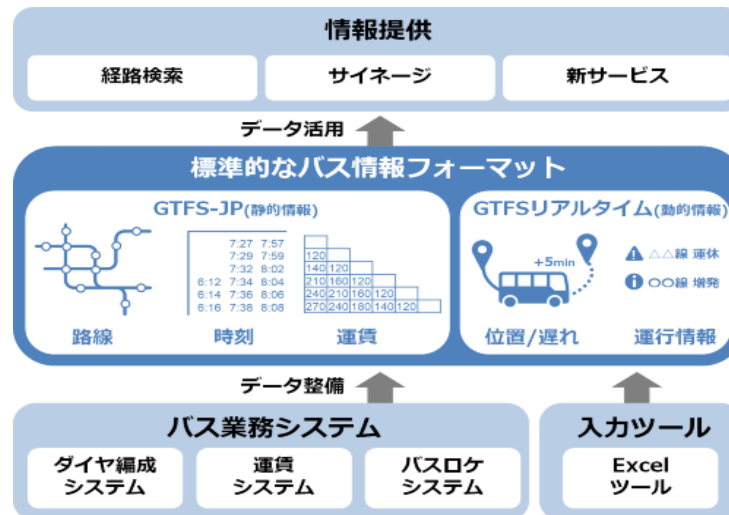
時刻：大分バス、大分交通、亀の井バス

運賃：対応事業者なし

GTFSリアルタイム（動的情報）

位置/遅れ：大分バス、大分交通、亀の井バス

運行情報：大分バス、大分交通、亀の井バス



出典<標準的なバス情報フォーマットFAQ>

※大野竹田バス、臼津交通、国東観光バス、大交北部バス、玖珠観光バス、日田バスは全てのデータに対応していない。

2 今後の対応について

事業者名	GTFS-JP			GTFSリアルタイム	
	路線	時刻	運賃	位置/遅れ	運行情報
大分バス	○	○	◎	○	○
大分交通	○	○	◎	○	○
亀の井バス	○	○	◎	○	○
大野竹田バス	◎	◎	◎	×	×
臼津交通	◎	◎	◎	×	×
国東観光バス	◎	◎	◎	×	×
大交北部バス	◎	◎	◎	×	×
玖珠観光バス	◎	◎	◎	×	×
日田バス	◎	◎	◎	×	×

Googleマップ等で検索した際、県内全域においてバス路線を活用したルートが提案可能になり、県民及び観光客の利便性向上に繋がる。